

7 住宅・土地の所有状況

第7章は、調査票乙及び建物調査票を用いて集計した結果である。(第6章までは、調査票甲、調査票乙及び建物調査票を用いて集計しており、集計の対象範囲等が異なる。)

(1) 住宅、土地の所有

現住居を所有している世帯、現住居の敷地を所有している世帯は共に約7割

図 23 住宅所有率(平成 10 年～平成 30 年)

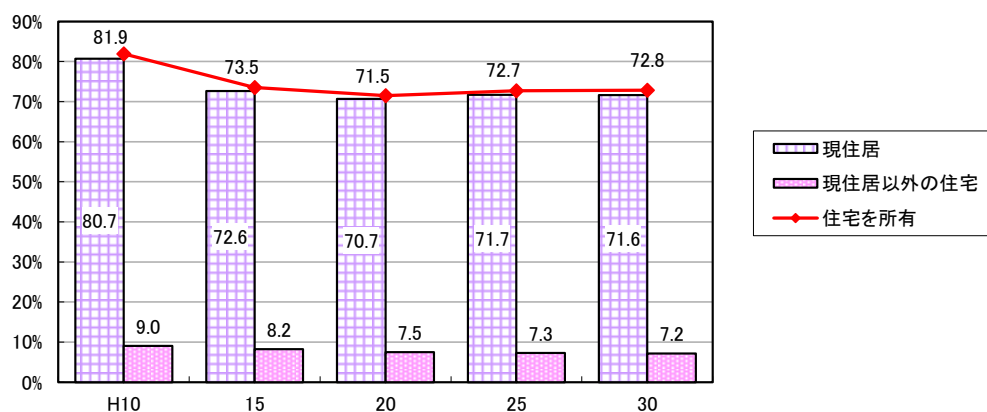
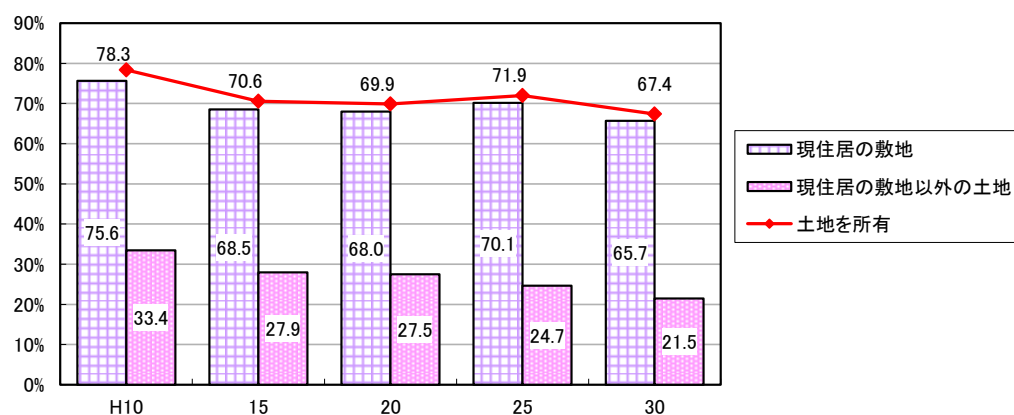


図 24 土地所有率(平成 10 年～平成 30 年)



普通世帯 405,000 世帯のうち、現住居を所有している（世帯員が登記簿上の名義人となっている）世帯は 290,000 世帯で、普通世帯全体に占める割合は 71.6%、現住居以外の住宅を所有している（世帯員が固定資産税を納付している）世帯は 29,000 世帯で、7.2%となっている。住宅を所有している世帯は 295,000 世帯となっており、普通世帯全体の 72.8%（全国 58.1%）で、全国 2 位となっている。

普通世帯のうち、現住居の敷地を所有している（世帯員が登記簿上の名義人となっている）世帯は 266,000 世帯で、普通世帯全体に占める割合は 65.7%、現住居の敷地以外の土地を所有している（世帯員が固定資産税を納付している）世帯は 87,000 世帯で、21.5%となっている。土地を所有している世帯は 273,000 世帯となっており、普通世帯全体の 67.4%（全国 49.8%）で、全国 2 位となっている。

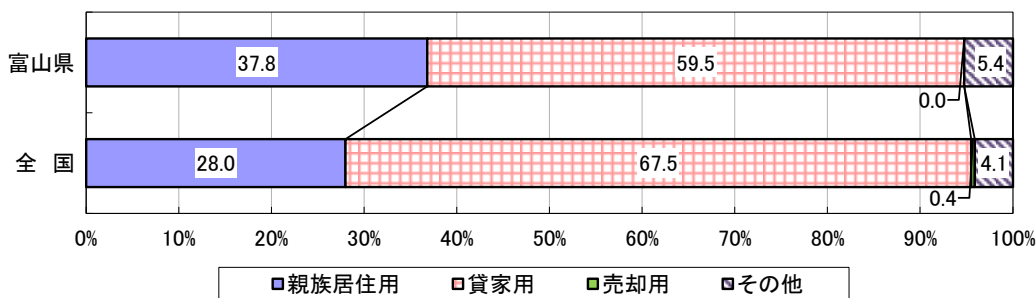
<図 23、図 24>

(2) 現住居以外に所有する住宅

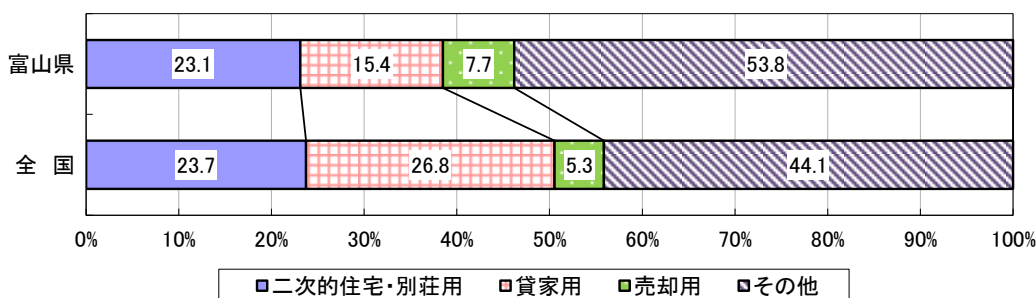
現住居以外に所有する住宅の4分の1は、居住世帯のない住宅（空き家）

普通世帯が現住居以外に所有する住宅（「一時現在者のみの住宅」及び「建築中の住宅」を除く）は50,000戸となっている。このうち、居住世帯のある住宅は37,000戸で74.0%（全国79.3%）、居住世帯のない住宅（空き家）は13,000戸で26.0%（全国20.7%）となっている。

図 25 普通世帯が現住居以外に所有する住宅の主な用途別割合－富山県、全国（平成 30 年）
居住世帯のある住宅



居住世帯のない住宅（空き家）



現住居以外に所有する住宅の主な用途別の割合をみると、居住世帯のある住宅は「貸家用」が59.5%（全国67.5%）と最も高く、次いで「親族居住用」が37.8%（全国28.0%）、「その他」が5.4%（全国4.1%）などとなっている。また、居住世帯のない住宅は、「その他」（転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や、使用目的がない住宅など）が53.8%（全国44.1%）と最も高く、次いで「二次的住宅・別荘」が23.1%（全国23.7%）、「貸家用」が15.4%（全国26.8%）などとなっている。

<図 25>